



# コフモス



平成 21年  
1月

## 〈赤磐医師会病院基本理念〉

- ❁ 心のかよう、温かみのある医療の提供に努めます。
- ❁ 安全で質の高い医療を提供し、信頼される病院を目指します。
- ❁ かかりつけ医と連携を深め、地域と共にある病院を目指します。



日本医療機能評価機構

# ごあいさつ



赤磐医師会会長 **鈴木邦次郎**

新年あけましておめでとうございます。

医師会会員の先生方、登録医の先生方またこの広報誌にお目を通して頂ける関係者のみなさま方におかれましては、心新たに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は医師会病院に対し多大なご支援とご協力を賜りましたことに対し心から感謝申し上げます。さて、昨年を振り返りますと後半からアメリカ発の金融危機がまたたくまに世界全体に拡がり、日本にも色濃く影響がでております。これは例外なく医療界にも及ぶものと思われまます。引き続き医師不足を中心とする医療崩壊が起こっており、政治家の心無い発言や、やたらと不安を煽りたてるマスコミの一部報道に多くの医療関係者は心を痛めています。

こうした厳しい環境の中で、病院医師の確保、維持については内科医師1名、外科医師1名を増員することができました。新任内科医師は健診事業に熱心に取り組んでいます。また、外科は3名体制となり県南東部の医療機関の中で一番充実し、消化器外科を中心に手術、化学療法など十分に対応できる状態が維持できています。

本年も困難な環境の中でも心の通う温かみのある医療を目指して着実な歩みを続けたいと願っています。どうぞよろしくご支援をお願いいたします。

丑の年はゆったりと一步を踏みだし、何かを始める心意気の年とも言われているようです。最後になりましたが今年一年が皆様にとりましてよい年となりますよう願っています。



赤磐医師会病院院長 **川口 憲二**

新年明けましておめでとうございます。

昨年春には念願の日本医療機能評価機構から認定書をいただきました。それに恥じないよう、本年も引き続き努力してまいりたいと存じます。

さて昨年から特定健診及び特定保健指導という健診制度が始まりましたが、当院では新たに外来に健診室を設け、医師、保健師を配置し診療及び指導に当たるようにいたしました。ご利用いただければ幸いです。

または昨年秋から、一般レントゲン撮影はもとよりCTやMRIをはじめとする画像所見はフィルムにかわって、コンピュータ画面へ取り込むようにいたしました。これにより外来診療室でもコンピュータの画面を見ながら、皆様方へ画像の説明を行っています。

さらに事務処理をより円滑に運べるように院内コンピュータ化を進めており、今春からは外来待ち時間の短縮につながるであろうと考えます。

本年も皆様方から安心してご利用いただける病院を合言葉にして、医師会会員の先生方並びに近隣の医療機関とも連携しながら、救急医療をはじめ地域医療を担っていく所存です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

皆様方にとりまして本年も良い年となりますよう、職員一同願っております。

平成21年1月



患者の皆様方から多くの貴重な意見をいただきました。ご意見についての当院の考え又は実施状況について下記の通りご報告いたします。今後とも、病院、職員に対するご意見をお寄せいただきたいと思います。

院長 川口 憲二

ご意見・ご感想	お答え
<p>入浴した際に足元が滑りやすいと感じました。老人の患者も多く骨折事故が起きたら大変なので、濡れても滑らない素材に変更できないでしょうか。</p>	<p>浴室と板の間の傾斜部分が滑りやすい素材のため、早急に滑り止めの工事を実施しました。また、マットにも滑り止めを付ける等の手だてをいたします。</p>
<p>診察時間の10分前（8：20）から待ち、1時間近く待って診察はたったの2分弱。もう少し考慮した待ち時間にして欲しい。</p>	<p>当院の受付は8時30分からで、診察は9時からとなっています。職員からの説明が不十分で不愉快な思いを抱かせることになり、申し訳ございませんでした。待ち時間対策に関しましては、予約制を導入したり、現場の職員ができるだけの配慮や声かけを心がけてきましたが、その日の外来の診療状況次第ではどうしても待ち時間が長くなることがあります。今後継続して検討していく予定であります。</p>
<p>屋上の真ん中ぐらいに椅子を設けていただけませんか。入院中散歩をしたくて屋上に上がっても、休憩するところがなく、早々に病室に帰っています。柵の近くだと色々問題も出るでしょうが、真ん中付近に置いていただければ気分転換に屋上に散歩でもと思います。</p>	<p>早速検討いたしました。屋上の真ん中に椅子を設けるのは管理上難しいので、屋上機械室壁側に3人掛のベンチを固定して置くことにいたしました。ご利用下さい。</p>
<p>駐車場出入口の鎖をなくすことが出来ないのはなぜか？病院に出入りする際（特に右折する場合）、非常に出にくい。西側の出入口より左折して適当なところで東進すれば事故や渋滞を防げると思うが。平日は開けているのになぜ休日、日曜のみ鎖をするのか。</p>	<p>当院では、夜間及び休日に正面駐車場の出入口3カ所のうち2カ所を閉鎖しています。以前より、立地上の利便性からか当院とは関係のない人たちが駐車場を利用することが多く見受けられ、患者様及び見舞いに来られる方に大変ご迷惑をお掛けしていました。このような理由から駐車場の出入口を制限せざるを得なくなり、現在も継続しています。出入りにご不便な点もありますが、本来目的の駐車スペースの確保から、この措置をとらせていただいていますので、何卒ご理解の程よろしくお願い致します。</p>
<p>私はお産の他は入院をしたことがなかったのでとても不安でした。でも周りのスタッフの方皆様親切で感謝しております。これからも患者さんのために頑張ってください。感謝でいっぱいです。</p>	<p>お褒めの言葉をいただき有り難うございました。私ども一同今後とも信頼される病院として努力いたしますので、よろしく願いいたします。</p>
<p>看護師の献身的な働きと心豊かなコミュニケーションに有り難く感謝の念を強くしました。毎日の院内清掃も良いです。</p>	<p>お褒めの言葉をいただき有り難うございました。今後とも、お言葉に恥じない病院になっていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。</p>



## 安心・安全な 外科手術を目指して

副院長 戸田佐登志

当院は岡山県の県南東部保健医療圏の中でへき地医療拠点病院として位置づけられ、平成16年に地域医療支援病院の承認を得、平成20年4月には日本医療機能評価機構の認定を受けました。遅ればせながらIT化に向け、昨年秋からPACS（画像配信システム）を導入し、今年2月からはオーダーリングシステム（全面電子カルテシステムの前段階として）を導入する予定です。

外科医は3名（昭和49年卒、昭和58年卒、平成10年卒）の常勤医師で、全て岡山大学消化器・腫瘍外科学（第一外科）教室の出身です。一般外科に関する施設として、日本外科学会専門医制度関連施設、精中医学MMG（マンモグラフィ）検診施設画像認定施設に認定されています。2007年の手術症例は全身麻酔83例で、上部消化管28例、下部消化管25例、肝・膵（肝臓切除・膵頭十二指腸切除）4例、胆道良性疾患13例、肺4例が主なものです。鏡視下手術も平成4年から胆のう摘出手術に導入し、平成5年からは気胸に、平成8年からは下部消化管の一部に、平成18年からは上部消化管穿孔に行っています。腰椎麻酔は55例で、急性虫垂炎、ヘルニアが主なものです。全身麻酔は全例、岡山大学麻酔科から麻酔専門医を派遣していただいています。緊急手術時の麻酔にも十分対応していただいています。

手術以外には、治療としては主に消化器癌に対する抗癌化学療法、肝癌・胆道疾患にIVR（介入的放射線医学）を行っています。検査は、消化器内科専門医とともに、GIF（上部消化管内視鏡検査）・CF（大腸内視鏡検査）・ERCP（内視鏡下逆行性胆管膵管造影術）などを行っています。

チーム医療の大切さを感じ、2007年からは看護師・薬剤師・理学療法士などとともに病棟カンファレンスを始めています。

当院外科に入院される患者さんは、70歳以上の高齢者が主であり、80歳以上の超高齢者が半数を占めるため、安全を第一に考え（しかし、悪性疾患の手術は根治度において質を落とさずをモットーに）、手術後は歩いて退院していただくように、手術後早期からのリハビリなどをスタッフ一同がんばっています。

（12月発刊の医学書院「臨床外科」vol.63 No.13 2008に掲載されました）

### ボランティアさん紹介

当院正面玄関ロビーに、故稲田昌瑛様の後を受け継いで、専敬本流赤坂公民館グループ（宮本様、橋本様）西軽部華道教室（坂本様、岡本様）の皆様が季節の花々を生けに来て下さいます。今回も稲田様の育てた松などを使ってお正月にふさわしい華やかな作品を生けてくださいました。



## 第39回日本看護学会学術集会に参加

### ＜透析室連絡ファイルの作成＞

平成20年10月10日・11日の2日間、静岡県コンベンションアーツセンターにて、第39回日本看護学会学術集会（地域看護）が開催されました。私たちは、そこで示設（ポスター掲示による発表）という形で『透析療法を受ける高齢者の家族や施設の介護スタッフとの情報交換の円滑化に関する検討』—透析室連絡ファイルの作成及びその評価—というテーマで発表いたしました。



透析患者様の高齢化に伴い、施設の利用や送迎サービスを利用される方が増え、患者家族との関わりが希薄となってきています。そのため、患者様の日常生活の情報共有と病院・施設間の連携を目的に、「透析室連絡ファイル」を作成しました。それを活用してもらい、関係者にその有効性について聞き取り調査を行い、検討し評価したという内容です。発表時、多くの方から質問を受け私達と同じ様に患者家族との連絡調整に課題を抱えている施設が多いという事を感じました。この研究を基に「透析室連絡ファイル」の更なる改善に努め、施設をはじめ患者家族との連携の基盤を築いていきたいと思っております。

透析室看護師 中村しげ子  
藤井みどり

### ＜胃瘻造設と家族の思い＞

—昨年来私たちは「胃瘻造設術を受けた患者の家族と心理的変化」についての研究を進め、今年9月に徳島県で開かれた第39回日本看護学会学術集会（老年看護）で発表をさせていただきました。

胃瘻造設者の対象は高齢者が多く、当院でも近年胃瘻造設件数が増加しています。

また胃瘻造設を実施するかどうかの最終的判断はご家族に委ねられる場合が多いです。



私達は胃瘻造設実施に関するご家族の心情に焦点をあて、実施前から実施後に至るまでのご家族の思いの変化を明らかにしようと研究を行いました。

「胃瘻造設前」・「造設後」・「現在」の三時点での思いをお尋ねした所、それぞれの時期で常に「造設すべきかどうか」「造設してよかったのか」と葛藤が続いており、ご家族は患者に代わって胃瘻造設を決心することの重責感を持ち、悩み続け、実施後約半年以上が経過してもなお、葛藤は続いていることが分かりました。また、胃瘻造設を実施した後も実施前と変わらず、「口から食べさせたい」という思いはあり、経口摂取への願いが消えないことが分かりました。私達はこれらの思いを理解し、不安や葛藤を持ち続けるご家族にその時期に応じた適切なアドバイスを行い、その心情を理解した援助を行っていききたいと思います。

病棟看護師 菅沼 敦子  
松村 優子



## 干し柿入り蒸し羊羹

### 作り方

1. 薄力粉、片栗粉を合わせてふるう。
2. 干し柿は1.5cm角に切る。
3. 型にクッキングシートを敷いておく。
4. あん、粉を手でもみ込むようにして、粉っぽさがなくなるまで混ぜる。
5. 水を加えヘラでよく混ぜ、干し柿を入れてよく混ぜる。
6. 型に入れ、表面をならす。
7. 蒸し器に入れ、強火で30分蒸す。

材料(15cm×12cmの型1台分)

1人分(1/8個) 108kcal

粒あん ..... 250g  
 薄力粉 ..... 20g  
 片栗粉 ..... 大さじ1/2  
 水 ..... 60ml  
 干し柿 ..... 2個



赤磐医師会病院 栄養科

## ポエムコーナー

優しい人  
 貴方は 笑顔が かわいい  
 貴方は 笑顔が 好きになる  
 貴方は 笑顔が あふれる  
 貴方は 笑顔が 広がる そして似合う  
 ひまわりのような 素敵な笑顔  
 世界中が笑顔になり、優しい人になる  
 貴方が笑うと僕も笑うよ  
 僕が今度貴方に笑顔を あげ・る・よ！  
 一人一人が優しい人になる為に生まれてきた

黒田 秀章

poem

## あしがき

- コ ミュニケーション(対話)
- ス マイル(笑顔)
- モ ビリティ(機敏性)
- ス キル(技術)

新年あけましておめでとうございます。  
地域版コスモスも創刊から2年が過ぎました。

当院が地域に開かれた病院であるためには病院のことを少しでも分かりやすくお伝えしたいとの思いで、編集部一同、微力ながらやってみりました。

今年は、IT化に向けPACS・オーダーリングシステムを2月から導入し安全で質の高い医療の提供に努めてまいりたいと思っています。

今年も皆様の健康とご多幸をお祈りいたします。

(編集部)

地域医療支援病院 赤磐医師会病院

〒709-0816 岡山県赤磐市下市187-1

TEL 086-955-6688 (代) FAX 086-955-4946

E-mail: akaiwahp@gamma.ocn.ne.jp http://www12.ocn.ne.jp/~akaiwahp/

発行日 平成21年1月15日

